

1 基本情報

施設名称	大阪市立此花区老人福祉センター
施設所管課・担当	福祉局高齢者施策部高齢福祉課（電話：06-6208-8054）
条例上の設置目的	高齢者に関する各種の相談に応じ、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するとともに、高齢者の地域福祉活動を支援することを目的とする。
業務の概要	高齢者の生活に関する相談・高齢者の健康の増進及び地域福祉活動に関する情報の収集及び提供・講演会、講習会及び教養講座の開催・高齢者のレクリエーション活動の機会の提供・高齢者の地域福祉活動その他自主的活動の支援。
成果指標	①センター利用者向け実施する満足度調査で、「満足（やや満足）と回答される方」の割合 ②センターの延べ利用人数 令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均以上 ③センターの登録人数 令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均以上
数値目標	①85.6%以上(26ある老人福祉センターで実施(令和2年度～令和4年度)したアンケートの平均) ②30,837人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間利用人数の平均） ③546人以上（当センターの令和2年度～令和4年度の年間登録人数の平均）
指定管理者名	社会福祉法人大阪市此花区社会福祉協議会
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	満足（やや満足）と回答される方の割合	センターの延べ利用人数	センターの登録人数
数値目標	85.6%	30,837	546
年度実績	87.8%	32,963	619
達成率	102.6%	106.9%	113.4%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	32,963	36,845	-3,882

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	16,711,000	16,768,000	0	－
	計画	16,711,000	16,768,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入）	実績	0	0	0	－
	計画	0	10		
合計	実績	16,711,000	16,768,000	0	－
	計画	16,711,000	16,768,010		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	12,462,800	13,227,408	-931,200	－
	計画	13,394,000	13,681,000		
物件費	実績	3,670,943	2,474,121	353,943	－
	計画	3,317,000	3,087,010		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
合計	実績	16,133,743	15,701,529	-577,257	－
	計画	16,711,000	16,768,010		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
アンケート調査で「満足（やや満足）と回答される方」の割合	102.6%	B	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を達成している。
センターの延べ利用人数	106.9%	B	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を達成している。
センターの登録人数	113.4%	A	講座・イベントなどの定員数を増やしたり、男性利用者の増加に向けた取り組みを実施したり等、工夫しながら実施していく中で、本市が定める水準を超える成果があった。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・軽微な保守修繕は職員で自主修繕の実施による経費削減。 ・こまめな節電・節水及び比較見積調達による経費節減。	B	節電・節水や軽微な保守修繕は職員が行うなどの取り組みをし、市費の縮減に努めた。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・併設施設と連携して、消防避難訓練を複数回実施することにより利用者の安全管理を図っている。
事業計画の実施状況	B	・世代間交流事業として、子ども・子育てプラザと連携して、イベントを行ったり、男性利用者の拡大のために、将棋連盟講師による将棋講座を実施するなど、工夫しながらセンター運営に努めている。
施設の有効利用	B	・職業体験学習として学生を受け入れるとともに近隣の消防署や警察署などと連携しながら講習等を実施するなど地域関係団体等と連携している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護規程を定め、個人情報の保護を行っている。 ・環境保護対策として、再生紙の使用を行うなど実効性のある取組を行っている。

5 利用者ニーズ・満足度等

（1）調査方法 センター利用者に対してアンケート調査を実施
（2）回答者150人（未記入者含む）
（3）質問項目 ア 基本的な事項（年齢、居住区等） イ 満足度 ウ 電子機器等で学びたい内容、やりたい活動
（4）結果 ・総合満足度において、満足（やや満足）と回答される方が87.8%となっており、利用者の満足度は非常に高い。

6 外部専門家意見

1.アンケートによる利用者からの意見などから実態を把握され、計画を立て、事業を実行するというサイクルで取り組まれている点が評価できる。
2.男性利用者が少ないことを把握されている。男性利用者の増加実績のあった将棋やウェルネスゲーム等、更なる男性利用者増加に向けた取り組みを今後も続けていただきたい。
3.全体的に、課題を把握されており、改善に向けて努力されている。
4.指定管理者法人が実施しているLINE講座を利用者が受講することで、LINE講座ができるような高齢者を育成する等、ICTの活用に取り組みに力を入れられている。今後も連携しながらICTの活用に取り組んでいただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	成果指標はいずれも達成しているが、その中で、登録人数が目標を上回っている点について、利用者意見等によるニーズ把握や、他区老人福祉センターの開催事例を参考に、新たな講座の開設や講座内容の変更等により、とりわけ新規登録者が増加(R5:112名→R6:123名)しており、その中でも、男性新規登録者数が増加(R5:32名→R6:38名)しており、特に評価できる。引き続き、新規登録者、とりわけ男性の登録者・利用者の増加に向けて、創意工夫に務められたい。
管理経費・市費の縮減	B	比較見積調達による経費節減などにより管理経費の縮減を行っており効率的に管理運営を実施している
管理運営の履行状況	B	利用者がセンターで楽しむだけでなく、地域でも活躍していただけるように、センターの運営を行った。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	本市が期待する管理運営を行った。 外部専門家意見において評価されている取組については、ブラッシュアップを図りながら、たゆまない継続が望まれる。 また、男性や比較的若い方々等の新たな利用者の開拓に向けて、地域や企業等との連携による広報のほか、ICTを活用して効果的な情報発信に工夫を凝らすなど、いっそうの周知に努められたい。